


## 「遺伝研×TRiSTAR」実践的 研究プレゼンテーション講座とは

国立遺伝学研究所（遺伝研）で開発された「遺伝研メソッド」をもとに、遺伝研とTRiSTARが共同で開発した**英語と科学的思考の両方を強化するための科学プレゼンテーションの教育プログラム**です。科学者としての口頭発表経験を経て気づいた発表のコツや良く見られる間違い・失敗などを材料とし、同じく科学者である聴衆に伝えるために**科学者目線で作られた実践的な講座です。国際学会での発表をより効果的なものにするために、**生命・理工・文系・医療系など全分野の研究者にとって実践的な講座です。

## 講師



**郷丸 辰次（ごうまる たじ）**

国立遺伝学研究所英語専任講師。土木工学学士、応用言語学修士。子供のころから科学と言語、両方に興味を持ち、工科大学に進学しても外国語を勉強し続けた。バイリンガル育ちで、日本語は4ヵ国語目。言語伝達を効率よく行うにはただ単語を並べるのではなく、伝えたいメッセージを自分で認識して,その場の聞き手に最もふさわしいかたちに構成することが大切だと考える。自分の言語学習経験から学んだこの信念を、『遺伝研メソッドで学ぶ科学英語プレゼンテーション』を通じて受講者に身につけてもらいたいと考えている。

# 遺伝研×TRiSTAR 実践的 研究プレゼンテーション講座

**申込締切 12/11**

- **開講回数：全6講座**
- **開講日程：下記の通り**
- **開講時間：各講座とも16:00～18:00**
- **実施方法：オンライン**
- **言語：英語**
- **対象：研究者（教員･研究員）および博士課程学生**

※学生が受講する場合は、指導教員からの推薦を得てください

**2026年12月**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | 14 ① | 15 ② | 16 ③ | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 ④ | 22 ⑤ | 23 ⑥ | 24 | 25 | 26 |

例題：この文を研究発表用に書き換えなさい。
（ Use Specific VERBS to express actionより）

After reception of these frequency-segregated signals by the auditory cortex, more advanced processing allowing for actual perception of different sound pitches occurs.

→答えは
「遺伝研×TRiSTAR」実践的 研究プレゼンテーション講座で！

## 各講座の内容

① **Scientific Presentation with Purpose**: Designing for Feedback
② **Context and Focus**: the Golden Rules for Comprehension
③ **Seamless Storytelling**: Smoothing out the Bumps and Filling in the Gaps
④ **Effective Speaking for Effortless Listening**
⑤ **Visualizing Science**: Data, Images, & Slides
⑥ **Getting the Most out of Scientific Discussion** and **Q&A**

**①～⑥は独立した内容です。**

**参加申込フォーム**

https://forms.cloud.microsoft/r/60MV9CKaTJ

**講座に関するお問い合わせ**
**TRiSTAR事務局**
tristar_office@un.tsukuba.ac.jp